

北九州市宿泊税に関する調査検討会議

第3回調査検討会議資料

令和元年7月30日(火)

【目次】

1. 宿泊者アンケート調査結果	・・・	3
2. 宿泊税の使途について	・・・	16

1. 宿泊者アンケート調査結果

1. 宿泊者アンケート調査結果

(1) 調査結果

1. 調査方法

北九州市内4宿泊事業者において、宿泊者に対し、調査票を配付し回収した。

2. 調査期間

令和元年7月6日(土)～7月15日(月)


3. 有効回答数

配付施設名	有効回答数
リーガロイヤルホテル小倉	40
JR九州ステーションホテル小倉	119
ユタカホテル	50
小倉ベイホテル第一	48
合計	257

4. 調査票

宿泊税に関するアンケート

北九州市では、現在、宿泊税の導入について検討を行っています。
宿泊税は、市内に宿泊する方に対して税を課し(1人1泊200円程度)、その税を財源として、本市の観光振興に役立てるものです。
宿泊税の効果的な活用方法について、宿泊者の皆さまのご意見をお聞かせください。
(※ ご回答いただいた方には、粗品「開門の塩」を差し上げます。)



該当する項目に○をつけてください。

1. あなたについて伺います。
(1) 年代 1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代
4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

(2) お住いの都道府県 () 都・道・府・県

(3) 主な来訪目的 1. 観光 2. ビジネス 3. その他 ()

2. 宿泊税の活用方法として望ましいと思うものを教えてください。(複数選択可)

1. 港湾や空港の整備
2. 宿泊助成の拡充(割引クーポンなど)
3. 宿泊施設、観光事業者へのインバウンド対応等支援(バリアフリー、トイレ洋式化、キャッシュレス対応、Wi-Fi環境整備等への補助)
4. 観光PRや観光案内所の機能強化
5. 街中や観光地での多言語案内の整備
6. 観光地等の公衆トイレの整備(洋式化やバリアフリー化)
7. 市内外への観光客の回遊性向上のための取組み
8. MICE(*)施設の充実、大規模MICEの誘致
9. 世界遺産「官営八幡製鐵所関連施設」等の活用
10. 空港利用者の利便性(アクセス性)等の向上
11. クルーズ船受け入れ環境・おもてなしイベント等の充実
12. その他 ()

(*)MICEとは、Meeting(企業等の会議)、Incentive travel(企業等の行う報奨・研修旅行) Convention(国際機関・団体・学会等が行う国際会議)、Exhibition/Event(展示会・見本市、イベント)の頭文字のこと。

3. 宿泊税を活用して、どのようなサービスの充実を求めますか。(自由記載)

【アンケート実施機関】
北九州市役所(観光課) 担当: 松本、吉田 電話: 093-551-8150

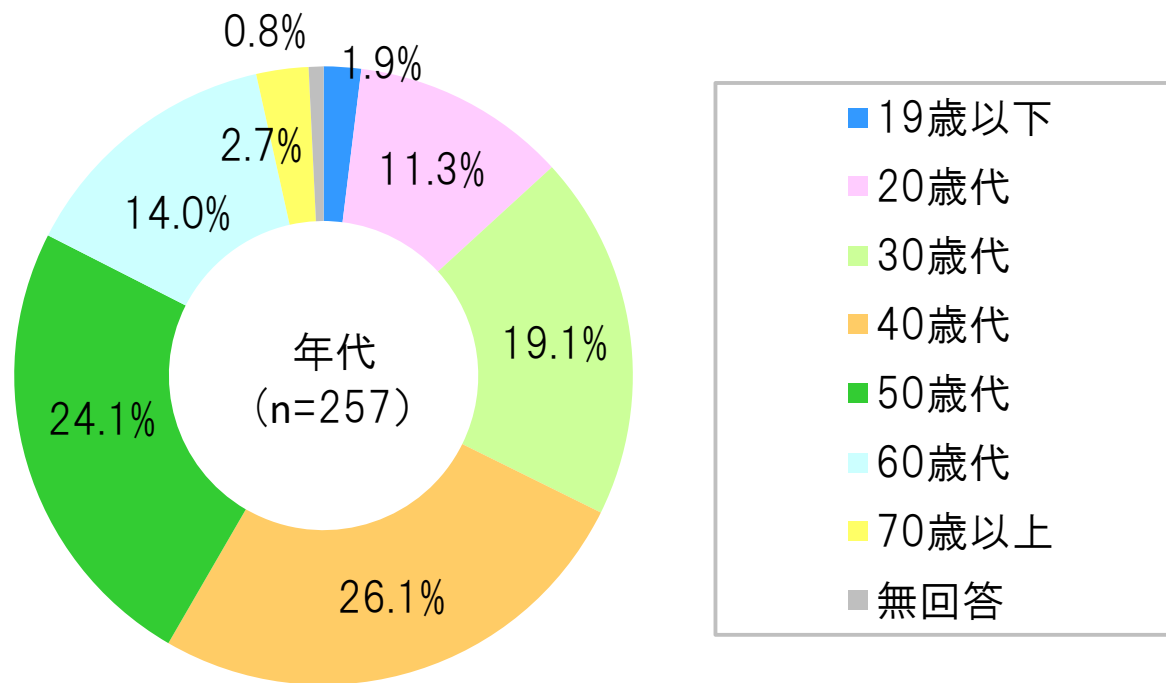
1. 宿泊者アンケート調査結果

1. あなたについて伺います。

(1) 年代

回答の概要

●回答した宿泊者の年代は、40歳代が67名(26.1%)と最も多く、次いで50歳代が62名(24.1%)、30歳代が49名(19.1%)と続き、幅広い年代からサンプルが得られている。



1. 宿泊者アンケート調査結果

1. あなたについて伺います。

(2)お住まいの都道府県(1/2・全体)

回答の概要

●回答した宿泊者の居住地は、福岡県が最も多く57名(22.2%)、次いで、東京都が46名(17.9%)と続き、九州内外とも幅広い地域からサンプルが得られている。

【全体】

	回答数	構成比(%)		回答数	構成比(%)
福岡	57	22.2	宮崎	2	0.8
東京	46	17.9	京都	2	0.8
神奈川	18	7.0	佐賀	2	0.8
大阪	18	7.0	埼玉	2	0.8
兵庫	11	4.3	富山	2	0.8
千葉	10	3.9	和歌山	2	0.8
長崎	10	3.9	愛媛	1	0.4
大分	9	3.5	岐阜	1	0.4
熊本	8	3.1	群馬	1	0.4
山口	8	3.1	三重	1	0.4
鹿児島	8	3.1	長野	1	0.4
奈良	6	2.3	島根	1	0.4
愛知	6	2.3	徳島	1	0.4
岡山	4	1.6	栃木	1	0.4
広島	4	1.6	福島	1	0.4
静岡	4	1.6	韓国	1	0.4
宮城	3	1.2	台湾	1	0.4
滋賀	3	1.2	無回答	1	0.4
			合計	257	100.0

1. 宿泊者アンケート調査結果

1. あなたについて伺います。

(2) お住まいの都道府県(2/2・地方別)

【九州・沖縄地方】

	回答数	構成比(%)
福岡	57	22.2
長崎	10	3.9
大分	9	3.5
熊本	8	3.1
鹿児島	8	3.1
宮崎	2	0.8
佐賀	2	0.8
合計	96	37.4

【中国・四国地方】

	回答数	構成比(%)
山口	8	3.1
岡山	4	1.6
広島	4	1.6
愛媛	1	0.4
島根	1	0.4
徳島	1	0.4
合計	19	7.4

【中部地方】

	回答数	構成比(%)
愛知	6	2.3
静岡	4	1.6
富山	2	0.8
岐阜	1	0.4
長野	1	0.4
合計	14	5.4

【近畿地方】

	回答数	構成比(%)
大阪	18	7.0
兵庫	11	4.3
奈良	6	2.3
滋賀	3	1.2
京都	2	0.8
和歌山	2	0.8
三重	1	0.4
合計	43	16.7

【関東地方】

	回答数	構成比(%)
東京	46	17.9
神奈川	18	7.0
千葉	10	3.9
埼玉	2	0.8
群馬	1	0.4
栃木	1	0.4
合計	78	30.4

【東北地方】

	回答数	構成比(%)
宮城	3	1.2
福島	1	0.4
合計	0	0.0

【海外】

	回答数	構成比(%)
韓国	1	0.4
台湾	1	0.4
合計	2	0.8

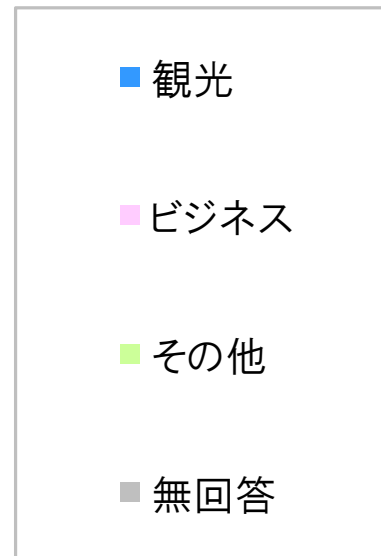
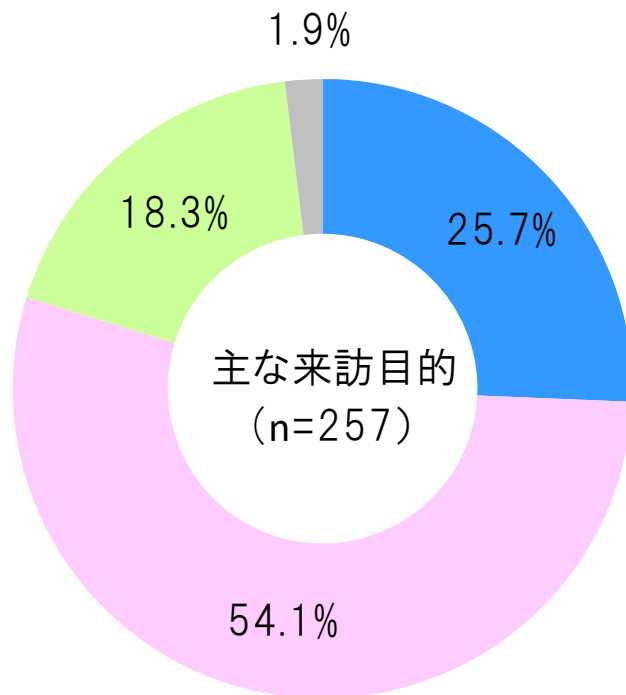
1. 宿泊者アンケート調査結果

1. あなたについて伺います。

(3) 主な来訪目的

回答の概要

●回答した宿泊者の主な来訪目的は、ビジネスが139名(54.1%)と最も多く、次いで観光が66名(25.7%)と続いている。



主な来訪目的・その他	件数
帰省	6
結婚式	6
親族訪問	3
法事	2
知人訪問	1
資格試験	1
休養	1
合計	20

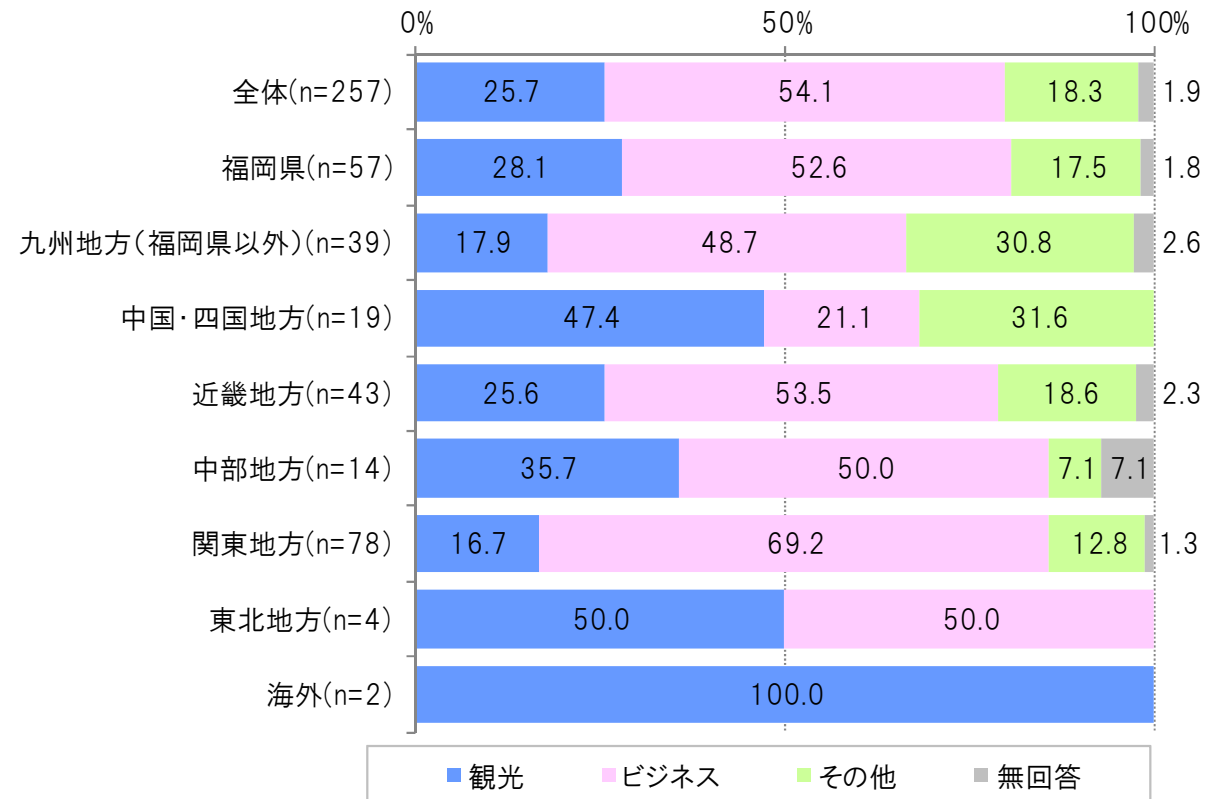
1. 宿泊者アンケート調査結果

1. あなたについて伺います。

(3) 主な来訪目的(居住地とのクロス集計)

回答の概要

●居住地(地方)別に見ると、観光目的は中国・四国地方と中部地方に多く、ビジネス目的は関東地方、近畿地方、福岡県居住者が多くなっている。(東北地方と海外については、サンプル数が極端に少ないため考慮していない。)

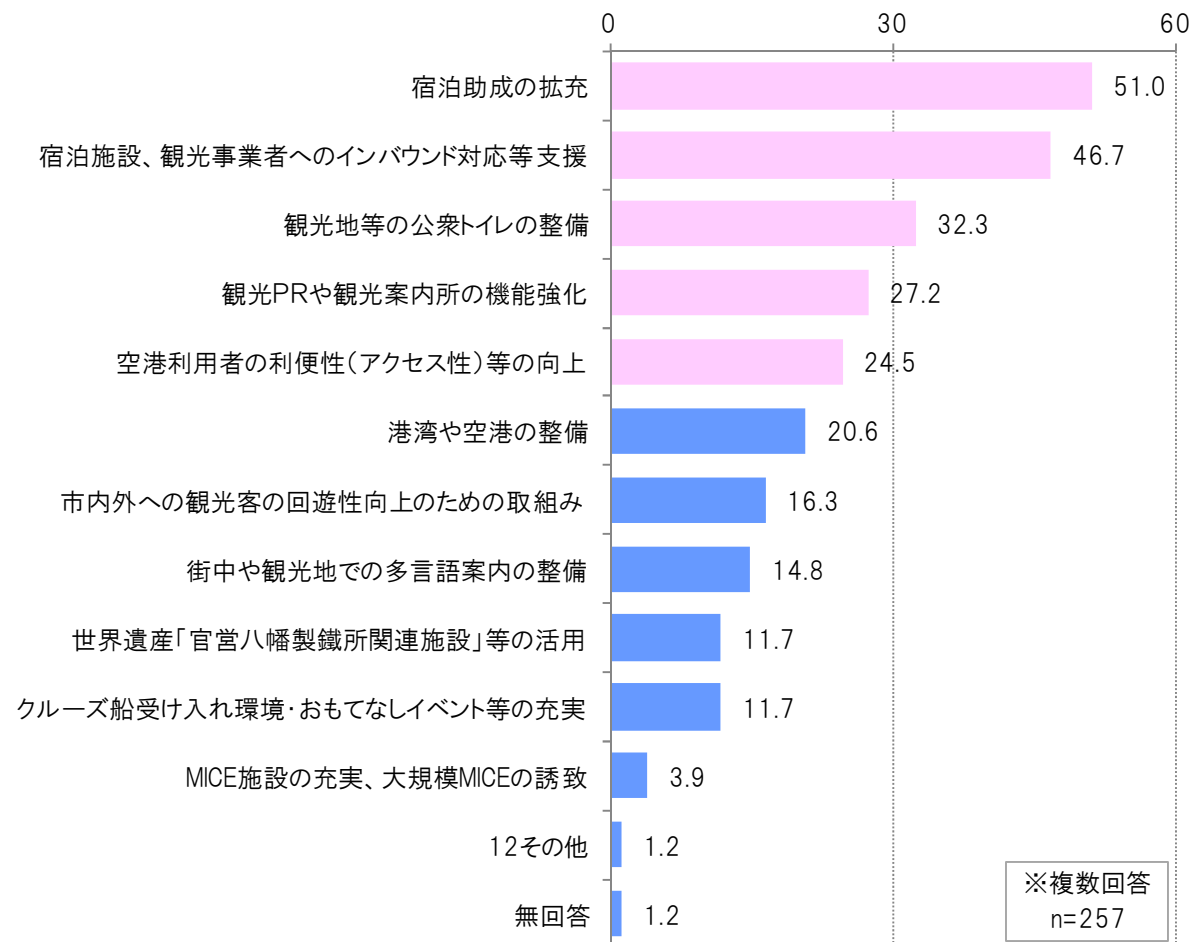


1. 宿泊者アンケート調査結果

2. 宿泊税の活用方法として望ましいと思うものを教えてください。(複数選択可)

回答の概要

● 宿泊助成の拡充が131名(51.0%)と最も多く、次いで、インバウンド対応等支援が120名(46.7%)、公衆トイレの整備が83名(32.3%)と続いた。



1. 宿泊者アンケート調査結果

3. 宿泊税を活用して、どのようなサービスの充実を求めますか。(自由記載)(1/3)

回答の概要

●様々な意見が挙げられており、特に受入環境整備に関する意見が多かった。一方、宿泊税の導入に否定的な意見は少数であった。

項目	内容	年代	居住地
空港アクセス・交通	空港からのバス無料化	20歳代	東京
	東京からは飛行機で来ることが多いが、北九州空港はバスかタクシーしか選択肢がない。例えば船で小倉の街に出れば便利	50歳代	東京
	空港(北九州)からの電車やモノレールがあると便利だなと思います。	30歳代	東京
	アクセスの向上	30歳代	和歌山
駐車場	駐車場などの無料又は割引	60歳代	岡山
	駐車場を多く、また大型車のスペースも。	60歳代	愛知
	市外からの来訪者については、駐車料金の優遇や交通費のクーポン等を考慮	50歳代	長崎
インバウンド	移動の容易さ、多言語利用	30歳代	福岡
	外国人観光客が観光しやすい街づくり	30歳代	大阪
観光	観光スポットを巡るバスは、多くの都市型観光地で運行されています。今日は、市立美術館に行きましたが、七条からシャトルバスが出ているとはいえやはり不便だと感じました。小倉城周辺とつなぎ、海のほうまで回る市内観光巡回バスがあれば好都合です。	50歳代	静岡
	観光PR	19歳以下	福岡
	主に観光客から徴収するものであるため、観光で北九州市を訪れた方々が快適に過ごしていただけるようなことに活用してもらいたい。	60歳代	福岡

1. 宿泊者アンケート調査結果

3. 宿泊税を活用して、どのようなサービスの充実を求めますか。(自由記載)(2/3)

項目	内容	年代	居住地
整備	駅前、整備等	50歳代	神奈川
	市のインフラ設備	20歳代	滋賀
	施設の改修	60歳代	韓国
	公園施設の整備	60歳代	兵庫
	環境面がより清潔であることや、ごみの処理等がしっかり整備されること	30歳代	神奈川
	バリアフリー、洗浄機付きトイレの増設等	40歳代	東京
イベント	競輪開催時のイベントの充実、強化。特に競輪祭のときおもてなしイベント等に力を入れる。	50歳代	東京
	イベント施設、展示場の充実	40歳代	福岡
	イベント施設、展示場の充実	40歳代	東京
	誰もが気軽に参加可能な体験型イベントのサービスを期待する。	40歳代	熊本
宿泊者向けサービス	ホテル利用割引券	30歳代	東京
	支払者に還元サービスを要望します。	60歳代	奈良
	宿泊者へのサービス	40歳代	東京
	高齢化になっている現状なので、その方たちが住みやすく便利な場所がより多くつくっていただけると、住みやすさがもっと増えると思います。	40歳代	埼玉
	割引券等の充実	20歳代	長崎
	朝食サービス	30歳代	福岡
	宿泊助成してもらえるとありがたい	40歳代	東京
	宿泊客の利便性につながる活用	50歳代	東京

1. 宿泊者アンケート調査結果

3. 宿泊税を活用して、どのようなサービスの充実を求めますか。(自由記載)(3/3)

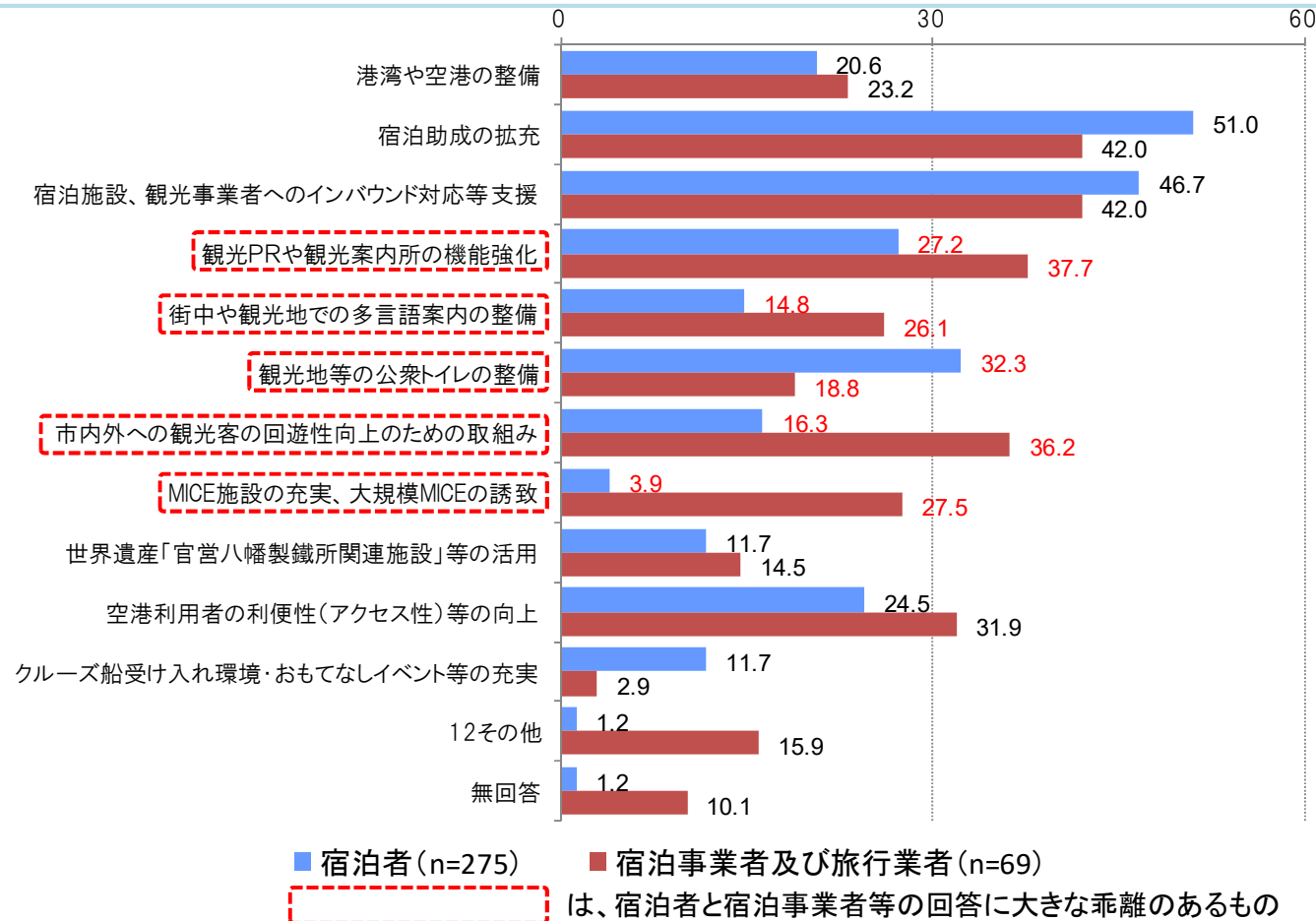
項目	内容	年代	居住地
その他	宿泊税そのものをやめて欲しい。観光都市という点に重きを置くなら、一般の会計から搬出してほしいです	60歳代	千葉
	福岡市と一緒にことをやらないでほしい	60歳代	福岡
	この十年近く、全国のホテルの料金が上がる一方で、我々のような出張族にとっては、税金にしろ観光振興にしろ、また値上がりなのかよお～という感じです。	50歳代	神奈川
	税はないほうがよいと思いますが、何に使うかが一番大事	50歳代	東京
	宿泊税を課すのであれば、他の自治体に宿泊をします。	60歳代	東京
	名称を支払う側も参加しているという気になる元気なものにしてください。宿泊税は暗い。(例)北九州観光繁栄協力金、北九州観光推進キャンペーン支援金…。	60歳代	東京

1. 宿泊者アンケート調査結果

(2) 宿泊事業者及び旅行業者アンケート調査結果との比較

比較概要

- 観光PRや観光案内所の機能強化、街中や観光地での多言語案内の整備、観光地等の公衆トイレの整備、市内外への観光客の回遊性向上のための取組み、MICE施設の充実・大規模MICEの誘致では、宿泊者と宿泊事業者及び旅行業者の回答に大きな乖離が見られる。
- 訪問側と受入側という立場に違いはあるものの、主たる受益者であるべき宿泊者の意見を十分取り入れ、バランスの取れた観光施策の推進が必要と考えられる。



2. 宿泊税の使途について

2. 宿泊税の使途について

(1) 宿泊税の使途の取組区分(イメージ)

① 短期集中的に取り組むべきもの

- ・戦略的な誘客促進プロモーションの推進
- ・「まちあるき」の満足度向上整備
- ・空港内の案内表示の刷新
- ・インバウンド誘致に向けた情報発信の強化
- ・宿泊施設へのインバウンド対応支援等

⋮

など

③ 必要に応じて取り組むもの

- ・新門司フェリーターミナル整備
- ・MICE施設の大規模改修

⋮

など

② 中・長期的に強化していくべきもの

- ・門司港レトロリニューアル事業
- ・市内外への観光客の回遊性向上のための取組
- ・修学旅行誘致の強化
- ・産業観光等のセールスの強化
- ・空港から市内アクセスの強化

⋮

など

3. 財政需要(宿泊税の使途)についての検討

(4) 今後必要と考えられる取組(1/4)

基本戦略	取組内容	事業規模
【戦略①】 北九州市＝観光都市としてのブランディング ＜都市イメージ＞	1 戦略的な誘客促進プロモーションの推進 ロケ誘致、youtube等を活用したPRの実施 など	0.5億円
	2 都市イメージの醸成 テレビ番組などメディアを活用したイメージ醸成、SNS映えするロゴオブジェ等の設置 など	0.5億円
【戦略②】 北九州市ならではの地域資源の観光資源化 ＜資源の発掘・磨き上げ＞	3 門司港レトロリニューアル事業 旧門司三井倶楽部や旧大阪商船の耐震事業 など	5億円
	4 門司港レトロの魅力向上、観光推進等 ライトアップや夜間景観周遊バスの運行、情報発信や集客イベントの実施 など	3億円
	5 ニューツーリズムの推進 サイクルツーリズムやスポーツツーリズム等の推進 など	0.5億円
	6 世界遺産眺望スペースのPR等 イベントPR、構内見学バスツアーの再開 など	1億円

※ 委員意見を反映したもののやアンケート上位項目を赤字で記載

3. 財政需要(宿泊税の使途)についての検討

(4) 今後必要と考えられる取組(2/4)

基本戦略	取組内容	事業規模
【戦略③】 セールスプロモーション戦略 <情報発信>	7 市内外への観光客の回遊性向上のための取組 関門連携、東・中九州観光ルート協議会(別府市・熊本市)、九州縦断観光ルート協議会(福岡市・熊本市・鹿児島市)などを通じたプロモーション事業 など	1億円
	8 夜型観光(ナイトタイムエコノミー)の充実 夜景観光の強化や夜間イベントの実施、宿泊者向けグルメ情報などの情報発信・プロモーション など	0.5億円
	9 修学旅行誘致の強化 市内へのコース変更等セールスの強化 など	0.3億円
	10 産業観光等のセールスの強化 産業観光の受入体制の強化やプロモーションの強化 など	0.5億円

※ 委員意見を反映したものやアンケート上位項目を赤字で記載

3. 財政需要(宿泊税の使途)についての検討

(4) 今後必要と考えられる取組(3/4)

基本戦略	取組内容	事業規模
【戦略④】 おもてなしの充実 <受け入れ体制の整備>	11 「まちあるき」の満足度向上整備 観光地のトイレ、Wi-Fi環境の整備 など	1.5億円
	12 空港から市内アクセスの強化 小倉駅－北九州空港間エアポートバスの増便 など	1.5億円
	13 空港内の案内表示の刷新 デジタルサイネージ、バス乗換情報システム等の設置 など	0.2億円
	14 新門司フェリーターミナル整備費 新門司フェリーターミナルの埠頭用地や関連施設の整備 など	2億円
	15 観光案内所の機能強化 観光案内所リニューアル、デジタルサイネージの設置、案内機能強化、多言語対応 など	3億円
	16 観光案内板の強化 観光総合案内板の改修、多言語化 など	1億円

※ 委員意見を反映したものやアンケート上位項目を赤字で記載

3. 財政需要(宿泊税の使途)についての検討

(4) 今後必要と考えられる取組(4/4)

基本戦略	取組内容	事業規模
【戦略⑤】 MICE戦略 ＜都市型集客＞	17 MICE施設の大規模改修 北九州国際会議場、西日本総合展示場の大規模改修	4億円
	18 MICE開催助成の拡大 助成の拡大、推進体制の強化 など	1.5億円
【戦略⑥】 インバウンド戦略 ＜東アジアからの誘客＞	19 宿泊施設へのインバウンド対応支援等 キャッシュレス推進、トイレ洋式化・バリアフリー化(公衆トイレ含む)、 WiFi環境整備、宿泊助成 など	1.5億円
	20 インバウンド誘致に向けた情報発信の強化 HPの更新、動画の作成、SNSでの発信、ウェブメディアの活用、 FAMツアーの実施 など	1億円
合 計	ハード面	15.2億円
	ソフト面	14.8億円

※ 本資料は、今後必要な財政需要を試算したものであり、宿泊税を財源とした具体的な事業内容は、各年度の予算編成時に検討していく。

※ 委員意見を反映したものやアンケート上位項目を赤字で記載